

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年02月06日

計画の名称	島本町地域住宅等整備計画															
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）											重点配分対象の該当				
交付対象	島本町															
計画の目標	『公営住宅に劣化防止及び耐久性向上に資する改善を行い、既存ストックの長寿命化を図る。』 『入居者の安全・安心を確保するため、既存ストックのバリアフリー化を図る。』															
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		362	A	362	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初		R5末
1	町営住宅の長寿命化率の向上			
	長寿命化された町営住宅の割合	0%	%	100%
	長寿命化率＝長寿命化済み戸数／町営住宅全管理戸数			
2	町営住宅のバリアフリー化率の向上			
	バリアフリー化された町営住宅の割合	94%	%	100%
	バリアフリー化率＝バリアフリー化済み戸数／町営住宅全管理戸数			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	島本町	直接	島本町	-	-	公営住宅等ストック総合 改善事業	御茶屋住宅(外壁等改修等)、 緑地公園住宅(外壁等改修・ 屋上防水改修・L E D改修)	島本町	■	■	■	■	■	362		策定済	
											小計						362			
											合計						362			

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
島本町において事後評価を実施	令和8年2月
	公表の方法
	島本町のホームページにて公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・ 既存ストックの長寿命化を図るため、公営住宅（緑地公園）の外壁等改修及び屋上防水改修を行った。 ・ 既存ストックの長寿命化を図るため、公営住宅（御茶屋）の外壁等改修を行った。 ・ 入居者の安全性確保を図るため、公営住宅（御茶屋）のバルコニー手摺を既存鉄製から耐久性のあるアルミ製へ改修した。 ・ 既存ストックのバリアフリー化を図るため、公営住宅（御茶屋）の玄関・浴室・便所へ福祉対応手摺を設置した。 ・ 既存ストックの高齢者対応を図るため、公営住宅（御茶屋）の浴室へユニットバスを設置した。 ・ 既存ストックの長寿命化を図るため、公営住宅（緑地公園）の共用灯設備についてLED照明器具への改善を行った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○ 特記事項（今後の方針等）

公営住宅等長寿命化計画（島本町営住宅長寿命化計画）を改定し、次期計画期間内に実施する計画修繕・改善事業を定めることにより、施設の長寿命化を図る。
なお、本計画は令和元年度から令和6年度までの6カ年計画であるため、令和6年度分の事後評価は、案件番号690441にて別途行っている。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	町営住宅の長寿命化率の向上		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	町営住宅のバリアフリー化率の向上		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	